

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和3 年 2月 3日

事業所名 放課後等デイサービス ここわ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	読書できるスペース、遊べるスペースなどレイアウトを工夫している。	利用人数や活動内容によっては狭いと感じることがある。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	見守りや支援性が高い児童が利用する際は細かい職員配置を考慮している	配置基準は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	スタッフが必ず付き添い安全に配慮している。	トイレの段差がある
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			月に1度職員会議を開き振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		本年度の動向をみながら計画し業務改善を行っていく。	保護者会の開催意見があり計画をしていたが、今年度はコロナウイルス拡大のため中止となった。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			保護者様の意見を参考に改善を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		研修レポートにて内容を共有している	参加できる研修や講演会に参加している。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			担当者会議やモニタリング、カンファレンスを行い利用者や保護者のニーズに沿った経過作成を心がけている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			標準化されたアセスメントツールを応用し状況把握に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		プログラムの偏りが無いよう複数のスタッフで行っている	様々な活動ができるようコロナウイルス感染対策をしながら計画している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		利用者の意見を参考にすることもある。	児童の意見を取り入れながら工夫し計画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		平日は時間が限られている為室内でダンスをしたり、子供たちが楽しめる工夫をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		集団活動ではジョイトの合同レクリエーションを行っている	担当者会議やモニタリング、カンファレンスを行い利用者や保護者のニーズに沿った経過作成を心がけている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			支援開始前に支援内容や役割分担を話しあっている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		シフト制のため終了後全員がそろわないため翌日ミニカンファレンスを行い周知している。	問題があるときや保護者からの要望があるときは必ず話し合い、早期に対応しスタッフに伝達し周知している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			活動記録は当日関わった職員全員で記録し情報を共有している。問題があれば早期対応し改善できるよう取り組んでいる。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			定められた期間で行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5			利用者と保護者様のニーズを踏まえガイドラインに示されている必要な項目委をくみあわせ支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児童発達管理責任者が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5		利用表(カレンダー)を記入して頂き書面で確認できるようにしている。	保護者から連絡をいただき送迎を調整している。学校の先生方とも情報を交換している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5			現在対象児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4			保護者様や相談員の情報提供が主になっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			担当相談員への情報提供が主になっている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		公の研修に参加している。必要に応じて保護者の了承を得て各関係機関からの助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		交流する機会を設けることが出来ないため今後の課題とする。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		参加することが出来ていないため今後の課題とする。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		云えない保護者様には電話や連絡ノートにて伝えている。	主に送迎時にスタッフが直接伝えている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	デイで取り組んだ支援内容の評価をお伝えし家庭でも活用していただけるように情報をお伝えしていく。	保護者へ支援していけるよう引き続きスキルの向上を目指す。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			相談があった場合は送迎時にお会いし対応する。他のスタッフと共有し必要な助言を考え対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		コロナの影響を受け開催することが出来なかった。例年は夏祭りを企画しているが保護者参加が年1回と少ないため保護者会等の企画を検討中。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			保護者様や児童から要望があったときは迅速に対応し解決につなげている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		ホームページでお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意している	5			鍵の付いたロッカーに保管している。個人情報の取り扱いには十分に注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			児童の特性に合わせ視覚支援等を用いるなど情報伝達しやすいように工夫し支援を行っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		様々な行事を通じて地域の方との交流を図っていくことを今後の課題とする。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5			スタッフ間でのマニュアル周知はできているが保護者様には対応できていない為今後作成していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			年2回（6か月に1回）行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		研修に参加したスタッフはレポートを作成し他のスタッフに研修報告等行っていく。	研修に参加し情報を共有している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			現在対象児はいないが今後対象児童がいた場合には十分に説明を行い同意を得る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		医師の指示書、保護者様の申告と共に対応して	契約時に必ず確認している。（現在対象児はなし）
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			ヒヤリハット報告はスタッフ間で共有している。管理者合同会議で報告し他部署へも情報共有し再発防止に努めている。